

アルミ部品の取扱い

アルミ部品は、塩分などの汚れを嫌います。また、他の金属部品と異なり、傷がつきやすくなります。取扱いについては必ず次のことをお守りください。

《アルミホイール》

- 砂入り石鹸や硬いブラシは、傷をつけますので使用しないでください。
- 縁石への乗り上げやすり当てはさけてください。

《アルミチェーンケース》

- 砂入り石鹸や硬いブラシは、傷をつけますので使用しないでください。

フェアリングの取扱い

〈CB1300 SUPER BOLD'OR〉

〈CB1300 SUPER BOLD'OR ABS〉

フェアリング、ウインドスクリーンは傷がつきやすくなっています。取扱いについては必ず次のことをお守りください。

- フェアリング、ウインドスクリーンは傷がつきやすいので、清掃するときは多量の水を使って、やわらかい布やスポンジで汚れを落としてください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、十分な水で洗剤を洗い流してください。
- ガソリン、ブレーキ液または洗淨液等の化学物質がメータ、ウインドスクリーン、フェアリング等の樹脂部品およびヘッドライトにかかると、亀裂などが発生します。絶対にかからないようにしてください。
- ウインドスクリーンに貼付されているコーションラベルは、はがさないでください。